

## 県外派遣報告書

TO役員名	大井 陽平	所属	中体連盟
大会名	WJBL サマーキャンプ 2017		
期間	2017/7/15～7/17		
会場	静岡県草薙総合運動場体育館(このはなアリーナ)		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
7/16(日)	座学講義・実技	このはなアリーナ	
会議 講義 内容			
<p>講師 東京都TO委員 河野氏 (このはなアリーナ 会議室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の日本バスケットボール協会の変化とそれに伴うオフィシャルの重要性</li> <li>・現行ルールの一部改正におけるオフィシャルの対応の仕方</li> <li>・JBA上田氏による動画解説</li> <li>・テーブルオフィシャルとスタッツとの協力体制の構築について</li> <li>・レフリーとのコミュニケーションの取り方</li> <li>・シーズンイン前に各県ですべき事項</li> <li>・今回の実技研修にむけてのレクチャーと、昨シーズンの反省点(東京都TO委員会を事例に)</li> </ul>			
実技			
	期 日	7/16(日)	女子
担当試合	対戦カード	トヨタ自動車 VS デンソー	スコアラー
		埼玉県(ショットクロック) 大阪府(タイマー・アシスタントスコアラー)	
ミーティング内容		主任	吉田 早緒里 氏(岩手県)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人が自分の仕事をしっかりとこなしていた。そのおかげでゲームにおいて大きなトラブルはなかった。特にタイマー系とスコア系でのコミュニケーションの取り方はとてもよかったように思う。</li> <li>・タイマー系とスコア系の連携があると、よりスムーズに対応できたケースがいくつかあった。例えば、バスケットカウントのファウルレポートの際における交代要求などを、タイマーがスコアラーに伝達することができれば間がなく進められたのではないか。その時スコアラーもアンテナをもっと広げる必要があったのではないか。</li> <li>・各県でやり方等が異なることが多々ある。うまくお互いのやり方にアジャストしつつ、よいやり方や工夫をもっと積極的に取り入れていきたい。</li> </ul>			
全体の感想			
<p>今回の研修会では、近年のバスケットボールのメジャー化に伴うオフィシャルのあり方とその職務の重要性というものを学ばさせていただきました。特に、オフィシャルにも確固たるルールの理解が必要であるということ、多くのゲームを経験することが今後必要であると思いました。実技では、自分のルールへの理解やマニュアルなどで不十分さを痛感いたしました。県内での活動をより一層積極的に行って参りたいと思います。最後になりますが、この度貴重な経験をさせて頂きましたJBA・TO委員の皆様と、派遣してくださいました田島埼玉県TO委員長・北島埼玉県審判長をはじめとするTO委員の皆様にご礼申し上げます。ありがとうございました。</p>			